

令和4年度
幼保小連携推進地区事業
活動報告

西柴小学校 西柴保育園

推進テーマ

「園生活から小学校生活へ」

～子どもの育ちと学びをつなぐ支援を目指して～

子どもたちの願いや思いが実現し、幼稚園・保育園での豊かな経験を小学校生活で円滑に生かし、学習や望ましい生活につなげること。

小学校に入学する前に、園児・児童、また保育者・指導者が交流したり情報交換したりすることで、子どもたちが安心して学校生活を送ろうとする気持ちができること。

互いの園・学校で行う行事や活動・学習内容を共通理解することでさらによりよい内容を検討・改善すること。

今年度の重点課題

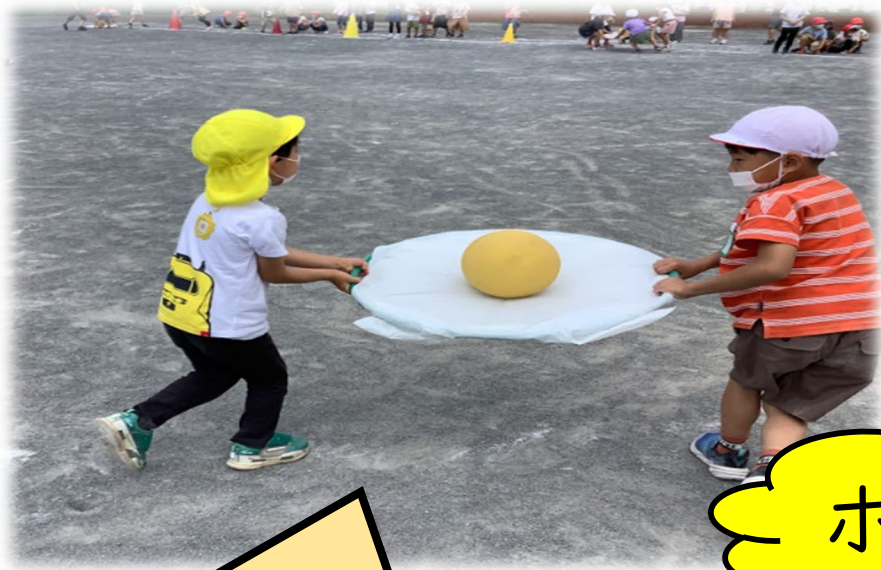
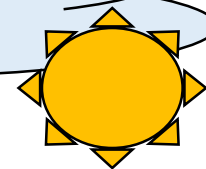
昨年度は、1年目の連携推進地区事業への取組、そしてコロナ禍ということもあり、何とか園と学校との子ども同士の交流を継続することで、お互いのことが少しずつわかってきたという段階であった。

今年度は、子ども同士が直接ふれ合える機会を多くもつことで、相手を思いやる気持ちを育て、新1年生を迎えることへの意識を高めていくこと。

今年度の西柴小学校の取り組み

- 3月～4月 保育者・指導者の交流（主に入学児童についての情報交換）
- 4月 第1回推進委員会（今年度の年間計画）
- 5月 園児・児童の学校での交流
第2回推進委員会（反省と今後の計画）
- 7月 幼保小教育交流 金沢第3ブロック研究会（オンライン）
- 9月 次回公園交流の打合せ
幼保小教育交流 金沢第3ブロック（八景小にて）
- 11月 園児・児童の公園交流（2日（水）、10日（木）実施）
幼保小教育交流 金沢第3ブロック（八景小にて）
- 1月 園児・児童の学校での交流
- 3月 第3回推進委員会（年間のふりかえり）

交流の様子① ~5月 in西柴小~



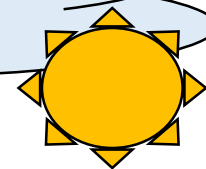
声を掛け合って、同じスピードや傾け方で進むと上手くてできるね!

ボール運び

力を合わせて頑張ろう!
一緒に遊ぶと楽しいね!



交流の様子① ~5月 in西柴小~



でないよー!

×でしょ~?

え!出るの!
早く食べたい!
楽しみだな~!

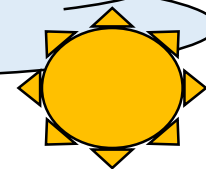
西柴小の給食
には、アイスが
でる。○か×
か?

正解は、○です!

西柴小○×クイズ



交流の様子② ~11月 in西柴第一公園~



動く縄に引っかからないように、気をつける~!



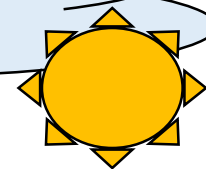
ぐるぐる縄避け



じゃんけん列車

次は、あの列車とじゃんけんだ!
最後まで勝つぞ~!

交流の様子② ~11月 in西柴第一公園~



ぴよぴよさん

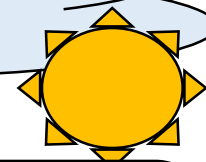


お手本のお友達のまねっこだ!
面白いポーズがたくさん!

楽しかったよ!
また、一緒にあそぼうねー!



交流の様子③ ~1月 小学生体験~



ランドセル体験



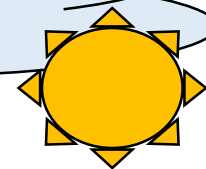
ランドセルって、こんなに重いんだ!すごい!

次は、この点からこの点に行くよ!
全部つなぐと、何ができるかな?



えんぴつを持って、
点つなぎ

交流の様子③ ~1月 小学生体験~



タブレット体験



小学校では、これを使って、いろいろな勉強をするんだよ。

お勉強以外にも、小学校には、たくさん楽しいことが待ってるよ!



とうばんのひとが、もりつけます

紹介動画の切り抜きです。

給食・掃除紹介

購入報告

【けん玉】

生活科の学習で活用しました。
大皿に乗せるところから始まり、いろいろな技に、意欲的に挑戦していました。



【スピーカー付きマイク】

通常のマイクよりも大きな音が出る特性を生かして、主に屋外で活用しています。公園や校庭での幼保小交流などで使用しました。

【紙芝居】

司書の先生に読んでいただいたり、教室で担任が読んだりして活用しています。



二年目を終えて

昨年度は、園児との直接交流が公園で遊ぶだけになってしまったが、今年度は規制はあったものの3回行うことができた。子どもたちはより一層園児たちを身近に感じ、自発的に考えた行動が見られた。

成果

- ・児童は、園児を招待して活動したことで、達成感を得られたとともに、新1年生を迎えることへの意識を高めることができた。
- ・園児との交流を通して、相手意識をもって関わることや、自分の成長を感じることができた。
- ・年長児の育ちや学び等について知ることができた。来年度のスタートカリキュラムに生かしていきたい。



課題

- 感染状況を見ながらの交流になってしまったので、直接交流の機会が十分にもてなかった。
- 子ども一人ひとりの個性や育ちを把握した上で、内容を吟味する必要があった。

三年目に向けて

- 推進委員会の充実を図る
 - ・保育園における「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手がかりとした園と小学校の接続を図っていく。
 - ・スタートカリキュラムの共有や改善を行い、子どもの安心感と主体性を大切にしていけるようにする。
 - ・卒園を前にした子どもたちの様子と、卒園に向けてのカリキュラムや入学後のおおまかな予定について情報共有を行い、まずは卒園から入学をスムーズにつなげられるようにする。